

泊高等学校 学び直しの数学 シラバス

「新高校の数学 I」 数研出版	単位数	2 単位
	学年・学級	第 1 学年～第 4 学年

1 学習の到達目標 等

学習の到達目標	基本的な計算や 1 次方程式とそのグラフ、相似な三角形、集合について理解させ、基礎的な知識の習得を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教科書・副教材等	数研出版 「新高校の数学 I」

2 学習計画及び評価の方法 等

※評価の観点：a（関心・意欲・態度）、b（数学的な考え方や見方）、c（数学的な技能）、d（知識・理解）

学期	学習内容	月	学習のねらい	評価の観点のポイント			
				a	b	c	d
前 期	1 四則演算 (6)	4	四則演算について復習し、身につける。			○	○
	2 小数、分数の計算 (7)	5	小数・分数の計算について復習する。		○	○	○
	3 正負の計算① (8)	6	負の数について確認し、正負の四則計算を身につける	○	○		○
	4 正負の計算② (6)	7	正負の計算について理解し、大きな計算に応用できる。			○	○
後 期	5 前期の復習 (8)	9	前期で学んだ内容を確認し、知識の定着を図る。	○	○	○	○
	6 1 次方程式 (8)	10	1 次方程式について理解し、1 次方程式を解くことができる。	○		○	
	7 比例と 1 次関数 (8)	11	関数の概念の理解を確実にし、また、1 次関数のグラフをかくことができる。	○	○		
	8 図形の面積 (6)	12	多角形や円の性質について理解し、それらの面積を求めることができる。	○	○		○
	9 相似な図形 (6)	1	相似な三角形の性質を理解し、辺の長さを求めることができる。また、三平方の定理を理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができる。	○	○		○
	10 後期の復習 (7)	2	後期で学んだ内容を確認し、知識の定着を図る。	○	○	○	○